

特別寄稿

澤正宏編著『詳説福島原発・伊方原発年表』 クロスカルチャー出版（2018年2月）刊行を祝して

関東学院大学教授 矢嶋道文

近著『詳説福島原発・伊方原発年表』を手にして驚いたのは同書が澤正宏教授お一人の手によって仕上げられたものであること知ってであった。500頁に近い大部の年表を良くもお作りになったと改めて賛辞をお送りしたいと思う。本書の始発点ともいえる3.11はとりわけ関東以北の人々にとって忘れることの出来ない歴史的衝撃であった。原発の今後については安全性確保を優先的課題とすべきことは言うまでも無く、その危機意識を一層高める意図も本書は担われている。大学の体育館で3.11を体験した私たち空手道部は、その12月のクリスマスにコーチ・学生と福島の復興に向かったがその悲惨さには目を覆うものがあった。今、徐々に帰村・復興が進む中であって、もとには戻れないというもどかしい現実がある中、決して諦めてはいけないという励ましをも本書は与えてくれているように思えてならない。